

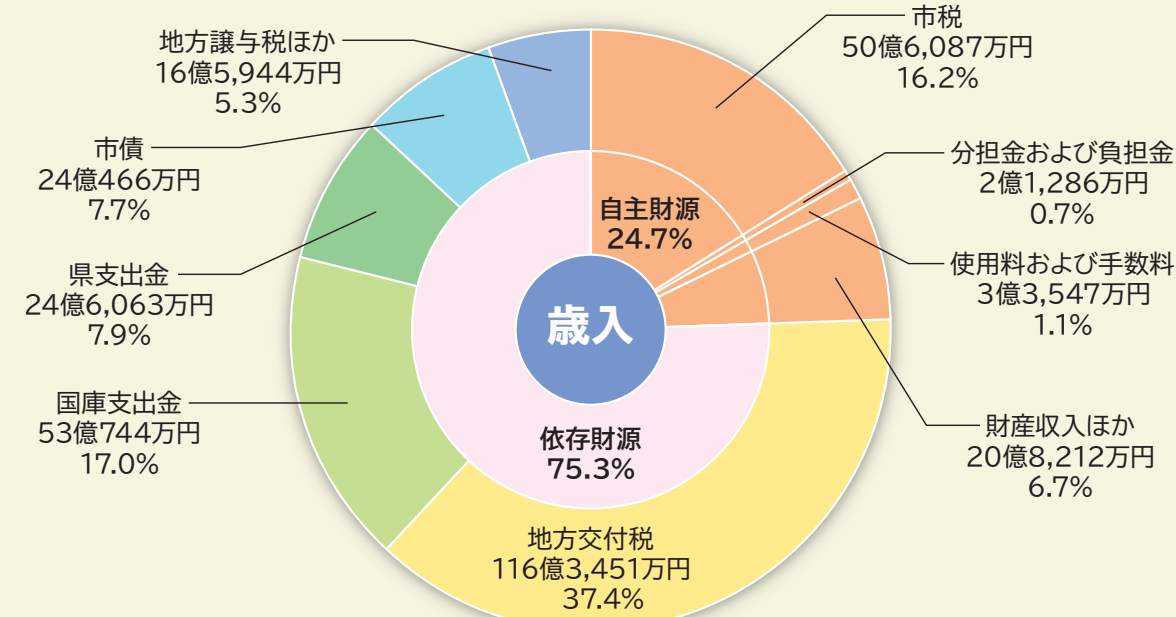
令和4年度の当初予算の概要をお知らせします

令和4年度の当初予算が市議会で可決されました。
 一般会計予算額は、**311億5,800万円**です。
 令和3年度に比べ**8億300万円の増額**となりました。
 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めるとともに、市民生活と地域経済の元気を取り戻すことに重点をおきます。
 具体的な内容を見ていきましょう！

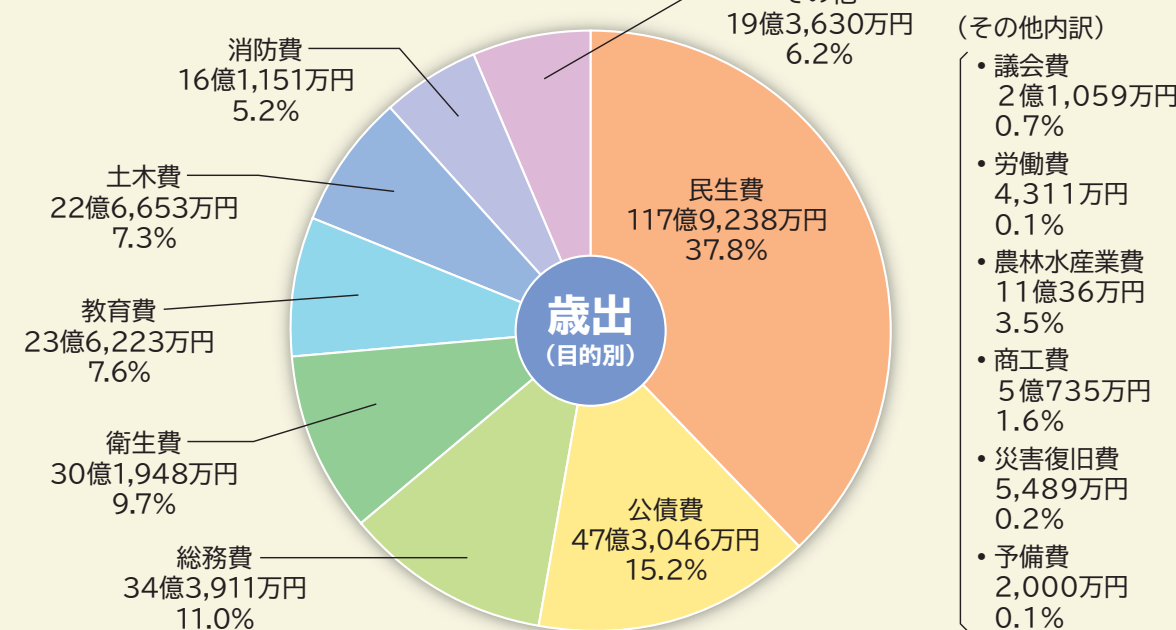
POINT! 当初予算のポイント

- 「ウィズコロナ・アフターコロナ」を見据えた予算
- 「高齢者支援」「子どもを育てやすい環境の確保」「地域産業の活性化」に重点

〈一般会計歳入(311億5,800万円)〉



〈一般会計歳出(311億5,800万円)〉



主な歳入



歳入の種類は大きく分けて「自主財源」と「依存財源」の2つに分かれます。簡単にいうと「自主財源」は市が自主的に集められるお金で、「依存財源」は国や県などから入ってくるお金です。

市税

【個人市民税、法人市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、都市計画税、人湯税】
 ★令和3年度収入の実績額は順調に増加しており、令和4年度も同様の収入状況が見込まれます。

財産収入ほか(うち寄付金)

【ふるさと納税による寄付金など】
 ★近年の寄付金額の増加を考慮し、前年度比2億7,000万円、90%の大幅増となっています。

地方交付税

【国が市町村に交付する普通交付税、特別交付税】
 ★特別交付税については近年の豪雪等の災害を鑑み、前年度より増と見込んでいます。

市債

【建設事業の資金や、財源不足による補填資金として必要となる借入金】
 ★前年度比6億9,794万円、22.5%の減となっています。

主な歳出



歳出は、目的別(行政分野に対する経費の配分が分かるもの)と性質別(構造の特色が分かるもの)に分けて分析できますが、ここでは目的別に分類した歳出について説明します。

民生費

【児童手当、生活保護など福祉サービスに係る経費】
 ★生き生きセンターの改修工事や保育士・放課後児童支援員の処遇改善などにより、民生費全体で前年度比2億2,077万円、1.9%の増となっています。

公債費

【市債の元利支払いに係る経費】
 ★ここ数年の借入金利の低下などにより、公債費全体で前年度比5,365万円、1.1%の減となっています。

総務費

【庁舎やコミュニティセンターの管理、広報、選挙などに係る経費】
 ★旧市役所本庁舎の解体工事の開始や選挙が重なることなどによって、総務費全体で前年度比9億9,362万円、40.6%の大幅増となっています。

衛生費

【医療や健康推進、環境対策などに係る経費】
 ★健康増進施設整備事業の工事開始などにより、衛生費全体で前年度比5億3,825万円、21.7%の増となっています。

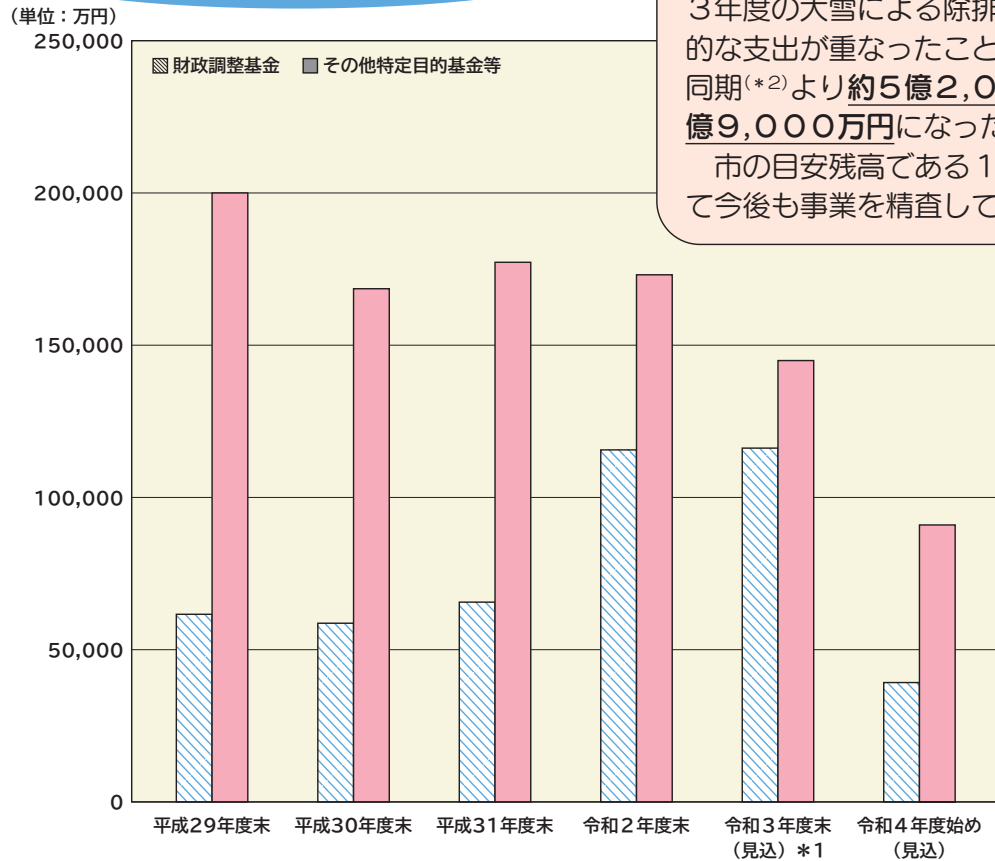
教育費

【学校、公民館、図書館、給食センターなどの管理運営に係る経費】
 ★金木運動公園や嘉瀬スキー場、ふるさと交流圏民センターなどの改修により教育費全体で1億3,449万円、6.0%の増となっています。

土木費

【道路や市営住宅の維持管理、都市計画などに係る経費】
 ★既存の道路修繕に係る経費を増額した一方で、公営住宅は新宮団地の建替、富士見団地の改修が完了したことなどにより土木費全体で前年度比4億6,135万円、16.9%の減となっています。

基金(貯金)残高

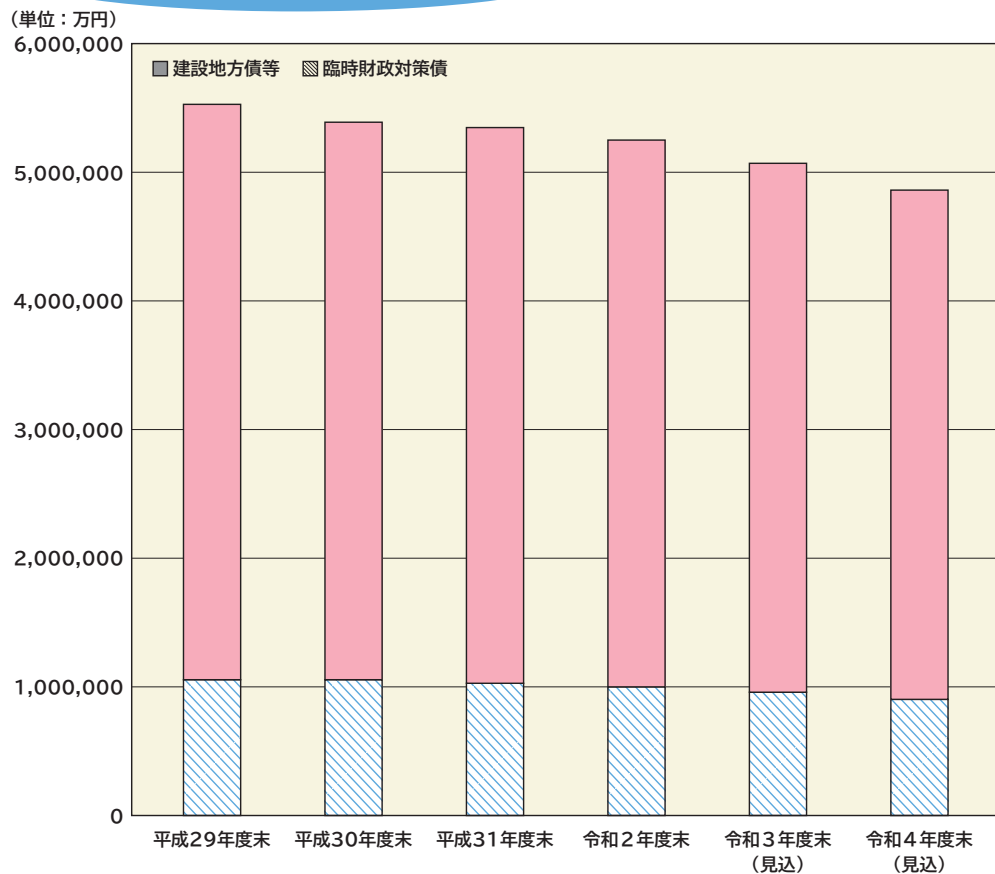


財政調整基金残高(市の貯金額)は、令和3年度の大雪による除排雪経費などの緊急的な支出が重なったこともあって、前年度同期(*2)より約5億2,000万円減の約3億9,000万円になったよ。
市の目安残高である17億円を目標として今後も事業を精査していく必要があるよ。



*1 歳計剰余金およびふるさと納税による積立は含めていません。
*2 歳計剰余金を含まない令和3年度始めの残高

市債(借金)残高



市債残高(市の借金額)は、緩やかに減少しているよ。
これは大型の建設事業が次々に完了して、借りる金額より返す金額の方が多くなってきているからなんだ。



高齢者支援



◎見守り移動販売支援補助金
買い物に困窮する高齢者の利便性を確保するとともに、見守り活動を行うことで、住み慣れた地域で安全・安心に暮らしていける環境を構築するため、移動スーパーを開業する方を支援する。
300万円

◎生活交通対策事業
高齢者等の移動手段である路線バスを維持・確保する。令和4年度は、通称「ELM120円バス」の一部路線をつがる総合病院等でも乗降出来るようにするなど、市と五所川原まちづくり㈱が共同運行する。
1億671万円

◎健康増進施設整備事業
市民の健康の維持増進を目的とした新たな拠点として温泉施設と運動施設を併設した施設を整備する。令和5年4月の供用開始を目指す。
3億5,083万円

子どもを育てやすい環境の確保



◎いじめ防止対策事業
児童生徒・保護者向けにいじめに関する相談窓口「子どもいじめ相談室」を開設し、いじめ対応アドバイザーとして専門スタッフを配置することで、いじめの早期発見と相談体制の充実を図る。
506万円

◎すくすく学校給食応援事業
子育て家庭の経済的負担の軽減を図るために、市立小中学校に在学し学校給食を受けている児童生徒の保護者で市内に住所を有する方を対象に、学校給食費の全額を支援する。
1億4,766万円

◎子育て支援アプリ事業
子育て支援アプリによる育児情報の提供、予防接種管理、成長記録の保存、データの家族間共有など、時代に適した方法で育児支援を行う。
66万円

◎子どもフェスティバル開催事業
休日の子どものお出かけ場所を求める子育て世代からの声に応えるため、子育て支援団体等と組織する実行委員会が開催する子どもを対象としたイベントの開催費用を補助する。
360万円

続いて、令和4年度の主な事業を紹介するよ!



地域産業の活性化

◎農業技術承継事業
熟練農業者による新規就農者や新規作目導入農業者に対する営農指導の橋渡しを行うとともに、他地域の新規就農者との交流や、先進地域での合同研修会を実施することで、農業に対する知識や技術が未熟な新規就農者や、新たな作物栽培に取り組む生産者の経営安定化と所得向上を図る。
111万円

◎スマート農業推進事業
農作業の省力化や技術支援により新規参入や規模拡大に寄与するスマート農業を普及・推進するため、市が整備するGNS基地局の補正電波を活用するスマート農業機械の導入経費に対し補助金を交付する。
1,000万円

◎信用保証料補給費補助金
市内中小企業者の安定的な資金調達の維持、開業率の増加を目的に、青森県特別保証融資制度と連携し、間接的に保証料を補給する。
令和4年度はコロナ禍における資金調達の円滑化・経営の安定化を目的として、融資期間を7年から10年、据置期間を1年から2年に拡充し、対象となる融資に借り換え制度を新たに追加する。
1,624万円

◎プレミアムトキ等販売促進事業
令和元年度から実施している「サンふじ」を継続して輸出するほか、令和2年度から取り組んでいる糖度15度以上の「トキ」を厳選し「プレミアムトキ」として輸出・販売し、台湾国内での当市産りんごの販路拡大・確保を図る。
コロナ禍の状況をかんがみ、現地ECサイトを活用した販売・PRを行う。
550万円



予算概要や新規・拡充事業の詳細はホームページを確認してね!



財政課HP: <https://www.city.goshogawara.lg.jp/jouhou/sosiki/zaisei.html>